

2016年3月30日
豊 中 市
イオン株式会社

豊中市とイオン株式会社の「地域連携協定」締結について

大阪府豊中市（市長：浅利敬一郎）とイオン株式会社（代表執行役社長：岡田元也）は本日、「地域連携協定」を締結しました。

本協定に基づき、豊中市とイオンは、ご当地WAONカード、空港を活かしたまちづくり、文化・スポーツの振興、地産地消・地域商業活性化に関する事など計13項目においてより緊密な連携を図り、地域の一層の活性化、市民サービスの向上を図ります。

本協定の取り組みの第一弾として、イオンは4月1日（金）より、「とよなかマチカネWAON」を発行します。カードの表面には、豊中市キャラクター「マチカネくん」を起用し、豊中ローズ球場でプレーするなど、「高校野球発祥の地・豊中」ならではのデザインとなっています。裏面には大阪国際空港のほか、豊中を代表するスポットの写真を配しています。

イオンは、全国のWAON加盟店で本カードを使って支払われた金額の一部を豊中市に寄付し、豊中市の市民スポーツの振興にお役立ていただきます。

本協定を機に、豊中市とイオンはこれまで以上に連携し、地域の活性化や市民の皆さまへの新しいサービスの創出に取り組んでまいります。

記

【「地域連携協定」の概要】

- (1) ご当地WAONカード発行と利用促進に関する事
- (2) 地域防災・安全安心に関する事
- (3) 空港を活かしたまちづくりに関する事
- (4) 文化・スポーツの振興に関する事
- (5) 地産地消・地域商業活性化に関する事
- (6) 健康増進・食育に関する事
- (7) 環境保全・3R（発生抑制・再利用・再生利用）に関する事
- (8) 教育・子育て支援・青少年育成に関する事
- (9) 地域福祉の推進に関する事
- (10) 市政情報の発信に関する事
- (11) 地域コミュニティの活性化に関する事
- (12) 就労・自立支援に関する事
- (13) その他市民サービスの向上に関する事

【「とよなかマチカネWAON」の券面デザイン】



【「とよなかマチカネWAON」について】

「マチカネくん」は、昭和39年（1964）に大阪大学豊中キャンパス（待兼山町）で発見された約45万年前の大きなマチカネワニの化石（約7メートル）がモデルとなった豊中市のキャラクターです。

豊中市は、大正4年（1915年）8月に、夏の全国高校野球選手権大会の第1回大会が開催された「高校野球発祥の地」としても知られていることから、カードには、豊中ローズ球場でプレーする「マチカネくん」が描かれています。豊中ならではのご当地カードとして、多くの方々に永く愛用いただくことを願っております。

なお、「とよなかマチカネWAON」カードのご利用金額の一部が、豊中市の市民スポーツの振興に役立てられます。

【「とよなかマチカネWAON」の概要】

- ・販売開始：2016年4月1日（金）～
- ・販売場所：近畿・北陸エリアのイオン・ダイエー・グルメシティ・マックスバリュ豊中緑丘店等、約200店舗にて販売を開始し、順次全国のイオン店舗で販売します。
- ・販売目標：3万枚
- ・発行手数料：1枚300円（税込み）
- ・WAON機能：チャージ可能金額 上限5万円
（1回あたりのチャージ金額の上限は2万9,000円）
- ・寄付について：「とよなかマチカネWAON」による売り上げの一部は、イオンより、豊中市のスポーツ振興基金に寄付されます

【WAONの概要】

- ・累計発行枚数：約5,610万枚（2016年2月末現在）
- ・年間利用金額：約2兆592億円（2015年度）
- ・利用可能箇所：約24万6,000箇所
※うち自販機・宅配便ドライバー端末 約14万8,000箇所